

農作物病害虫発生現況情報（8月）きゅうり編

1 ベと病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は76.9%（平成62.9%）で、平年並だった（図1）。

2 うどんこ病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生圃場率は15.4%（平成30.5%）で、平年よりやや低かった（図2）。

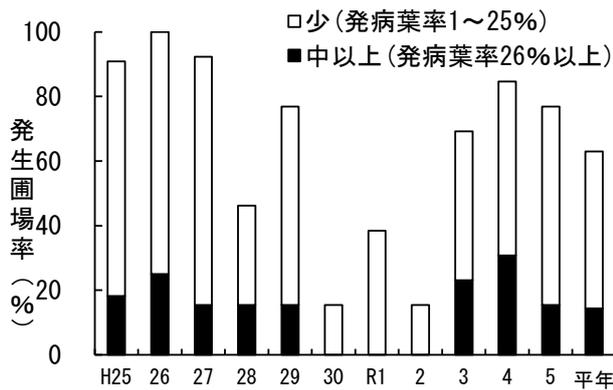


図1 ベと病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

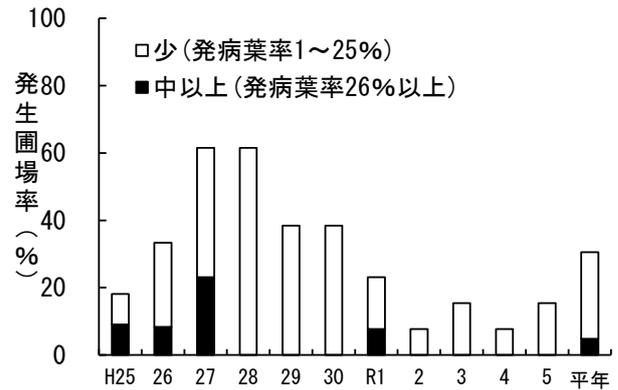


図2 うどんこ病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

3 褐斑病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は92.3%（平成50.6%）、発生程度が中以上の圃場率は53.8%（平成28.1%）で、いずれも平年より高かった（図3）。

4 炭疽病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は100.0%（平成74.9%）で平年より高かったが、発生程度が中以上の圃場率は15.4%（平成13.3%）で平年並だった（図4）。

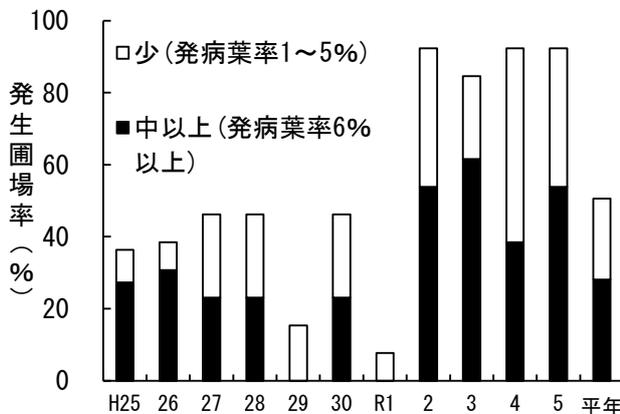


図3 褐斑病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

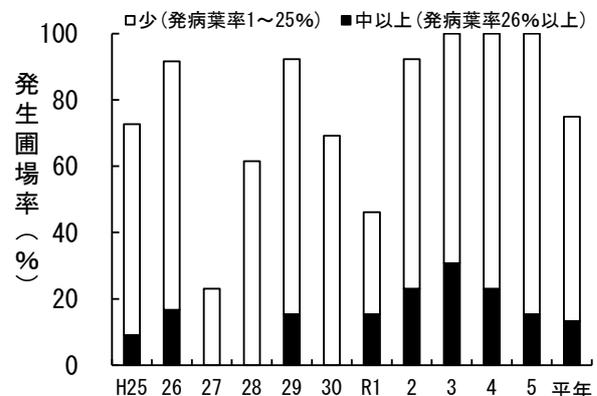


図4 炭疽病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

5 斑点細菌病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平成20.8%、図5）。

6 黒星病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった(平年17.9%、図6)。

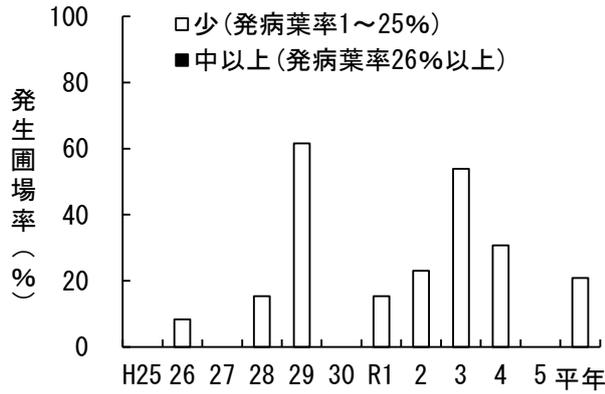


図5 斑点細菌病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

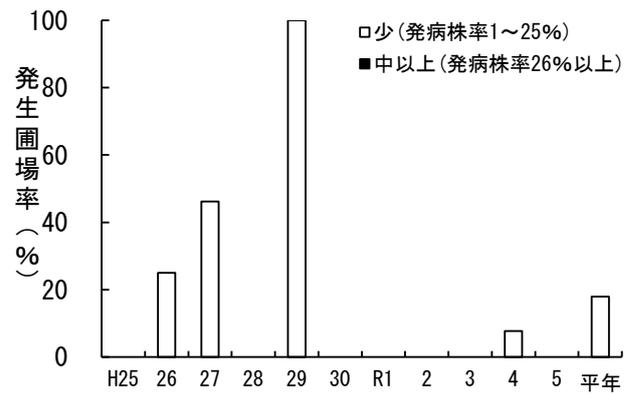


図6 黒星病の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

7 アブラムシ類

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は23.1% (平年7.8%) で平年よりやや高く、発生程度の高い圃場が1圃場確認された(図7)。

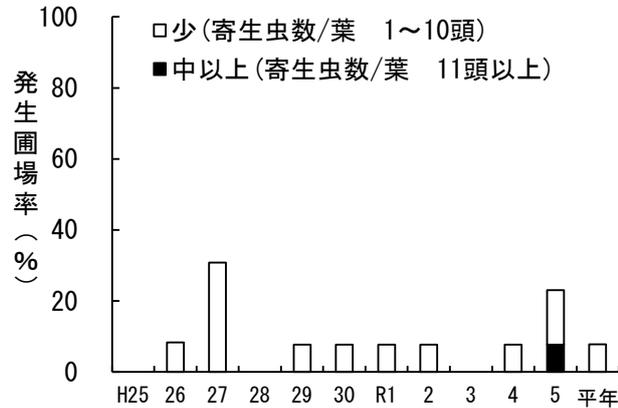


図7 アブラムシ類の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

8 ウリノメイガ (ワタヘリクロノメイガ)

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は61.5% (平年7.2%) で平年より高く、発生程度の高い圃場が1圃場確認された(図8)。

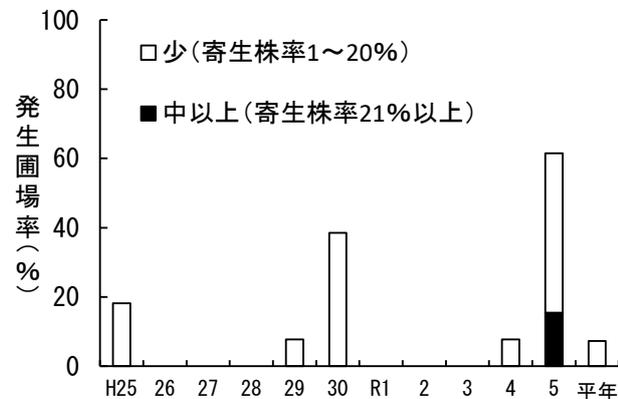


図8 ウリノメイガ (ワタヘリクロノメイガ) の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)